ギャル式ブレスト

茨城県の新たな「きゅん♡」を探す

01. ギャル×茨城県？

2019年まで、7年連続魅力度ランキング最下位の茨城県。ギャル目線からその魅力を考え、茨城県の新たな可能性を発見しようと、ギャル式ブレストを行いました。

ギャル式ブレストとは？

ギャルとのブレストを通して発想の広がりを体験し、
企業のイノベーション創出を図っていく体験型プログラム。

ギャル式ブレストで、ギャルの3つの能力を生かし、若者に刺さるプロモーションおよび企画を作ります。

セルフブランディング能力

ギャルは素材である自分自身を「盛る」ことによってブランド化し、発信活動を行っている。

本質発見能力

ギャルの直感的な思考の中には、ユーザーや消費者の感情に直接届くキーワードが存在する。

コンテンツ能力

ギャル×〇〇のインパクトは大きく、過去話題になったケースが多くみられる。

02. 茨城県×ギャル式ブレスト

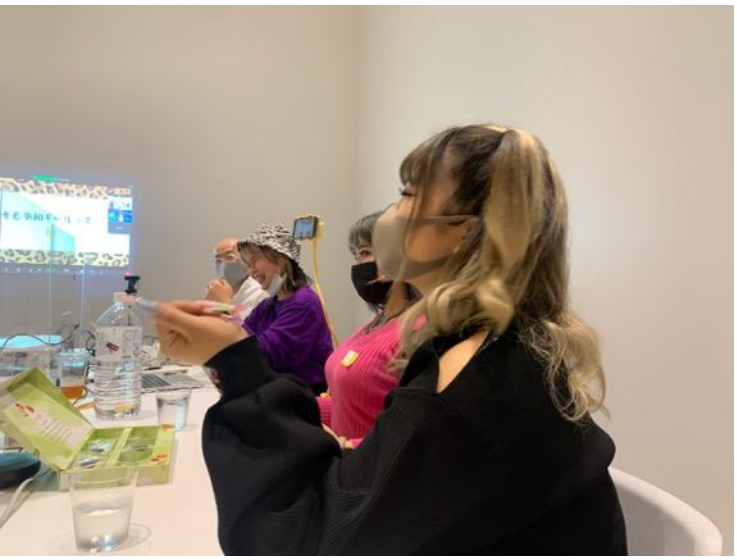
STEP 1 アイスブレイク

”刺さる”アイデアを創出するためには、参加者全員が職業や関係性を気にせずに自由に意見を出せる状態を作る必要があります。そのため、今回のギャル式ブレストは、

- ☑ 肩書き・役職は後悔しない
- ☑ タメ語で話そ〜♫敬語禁止〜！
- ☑ あだ名で呼びあお〜♫
- ☑ 自分が持っている中で一番派手な服で参加！
- ☑ リアクション多めで！5分以上沈黙NG!
- ✦ ギャル式ブレスト中はみんなギャルになる！

このようなルールを設け、参加者の発言に対する恐怖心をなくすことから始まりました。

キラキラのシャツ、蛍光色のニットなど、思い思いのギャルファッションを身にまとう参加者。序盤から、ギャルのパワフルなファシリテーションにより、大きな盛り上がりを見せました。敬語は使わず、肩書きを語らない、懐かしくも新しい自己紹介。ギャルが、それぞれの名前や趣味などの特徴をもとにあだ名をつけ、フラットな関係性ができた中ブレストがスタートしました。



CGOメンバー

リリースペイシー

ぱにぱにぱにぱに
ともちんぱ

バブリー

STEP 2 「茨城県と聞いて思いつくモノ・コトは？」

「茨城県」と言えばどんなイメージがあるのか、まずは参加者全員で”質より量”を大切に挙げていきました。

【場所】

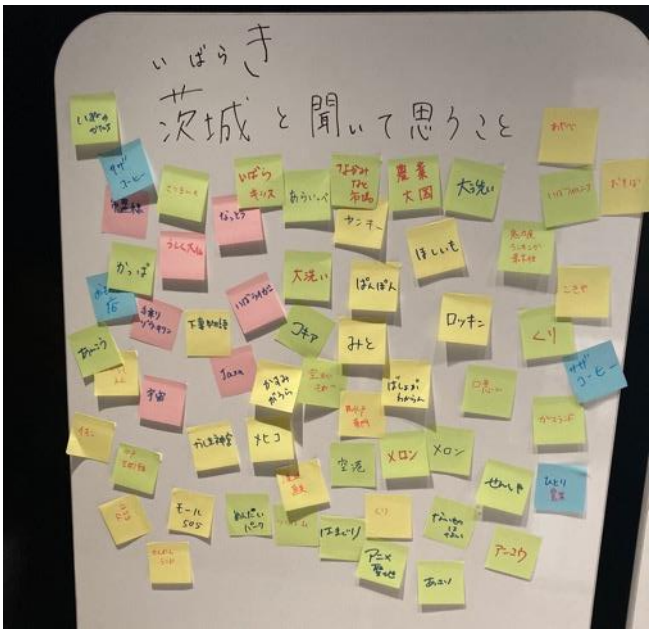
JAXA
ひたち海浜公園
霞ヶ浦
水戸
鹿島神宮
千波湖
牛久大仏
偕楽園

【食】

さつまいも
メロン
あんこう
そば
納豆
あさり
栗
めんたいソフト

【人・物】

渡辺直美さん
常磐線
コキア
ネモフィラ
水戸黄門
ヤンキー



出たワードの総数は50以上！（枠内は一部抜粋）

はじめに出てきたのは、一般的に有名な海や山、納豆やメロン、栗などの特産品。そこにギャルの視点が加わると、つくば市の遊園地「ガマランド」や土浦市の「モール505」などの地元ならではのスポットの名前が上がり、斬新な発想から、令和ギャルやZ世代に刺さる新しいアイデアのヒントが見えてきました。

▲土浦市　モール505イメージ

▲つくば市　ガマランドイメージ

ここでは、誰の意見であっても決して否定されないことから、関係性を気にせず、参加者全員が楽しみながら発言している様子でした。出たワードの総数は50以上。予定時間をオーバーするほど盛り上がりを見せたワークでした。

STEP 3 「うちらから見た茨城県のきゅん♡ポイントとは？」

全員で茨城県について思いつくことを話し合う中で課題視されたことは、参加者間の「茨城県」に対する見え方のギャップ。
そこで、茨城県民から見た茨城県の魅力を知ろうと、ステップ3は笠間市議会議員 内桶 克之氏による茨城県の魅力・名所のプレゼンから始まりました。

参加者は当初、茨城県の魅力的な部分を探そうという意識が強かったものの、内桶氏のプレゼンや、STEP2のワークを通して「茨城県の魅力はとても多く、PR力に問題があるのではないか？」と、視点に変化が。

魅力的な部分を探そう

▶

魅力はとても多く、
PR力が問題では？

単に茨城県の魅力を探すワークを行うのではなく、ギャル目線で、茨城県にきゅん♡を感じるポイントはどこにあるのか、全員での対話を通して紐解いていきました。

きゅん♡	心がときめいた時に使う言葉。

「自己PR力が低いところ」がきゅん♡ポイントでは？　PRしなくても生きていけるということは、個性を貫いていて、ある意味”ギャル県”なのではないか？など、論点は場所でも物でもなく、県民性自体に。ギャルならではの視点が参加者に共有されたことによって、「茨城県は全国のサポーター県なのでは？」と、新たな発想が生まれました。

自己PRの低さ
がきゅん♡
では？

個性を貫いて、
ある意味
ギャル県では？

県民性自体がきゅん♡

茨城県は全国の
サポーター県なのでは？

STEP 4 「茨城県のきゅん♡を誰に？どうやって伝える？」

最後は、魅力を発信していくためのアプローチを具体化し、若者に刺さる「アゲ」なアイデアを考えました。
先程のワークから見えた、きゅん♡ポイントをもとにアイデアを考えていく中で、新たな着眼点として上がったのが、「日本全国の魅力」について。
「日本は、特殊文化が多い」、「キレイ！癒し！は今は飽和状態にあるのでは？」
これらの問いから、若者に刺さるアイデアのヒントになるのは、意外性で攻めることではないかと議論が展開。

若者に刺さるアイデアのヒント ＝ 意外性

参加者の固定概念や思考の枠組みがはずれ、ソーシャルゲームや、現代のバズコンテンツと茨城を掛け合わせたアイデアに視点が移ったりとする中で生まれたのが、**「アングラ×茨城」**という発想でした。

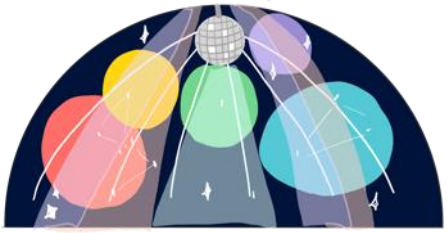
アングラ × 茨城

「茨城県が全国のサポーターであることを活かし、アーティスト向けに、使い古された”東京”ではなく、”茨城”を新たな拠点にしてもらうのはどうか？」という、ギャルの意見。この一声から、「大仏ライブ＋プロジェクションマッピング」「クラブ化NEOプラネタリウム」と、これまでにない、斬新な魅力発信アイデアが続々と生まれました。

全国のサポーター県

アーティストに、
茨城県を活用してもらう

▲ 大仏ライブ＋プロジェクションマッピング



▲クラブ化NEOプラネタリウム

話題は、「誰に」届けるかというポイントに。
「周りの友達に届けたい」という参加者の意見が思考の触媒となって注目されたのが、インスタグラム等のSNSの活用。

2014年に鉄道の国際デザインコンペティション「ブルネル賞」を獲得した日立駅の存在や筑波山などの絶景ポイントがあることなどから、SNSで＃茨城空映えというタグをバズらせるために、一人旅プランや女子会プランの充実を目指すというアイデアが生まれました。

▲『海の見える駅』より　日立駅

▲『観光いばらき』より　筑波山

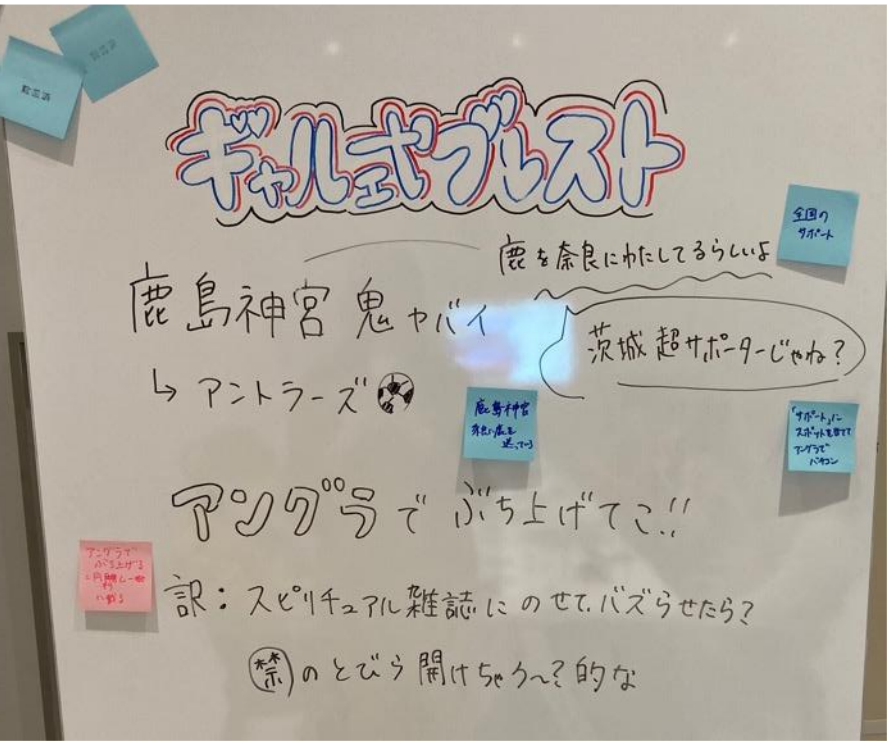
＃茨城空映え　｜　一人旅プラン/女子会プラン

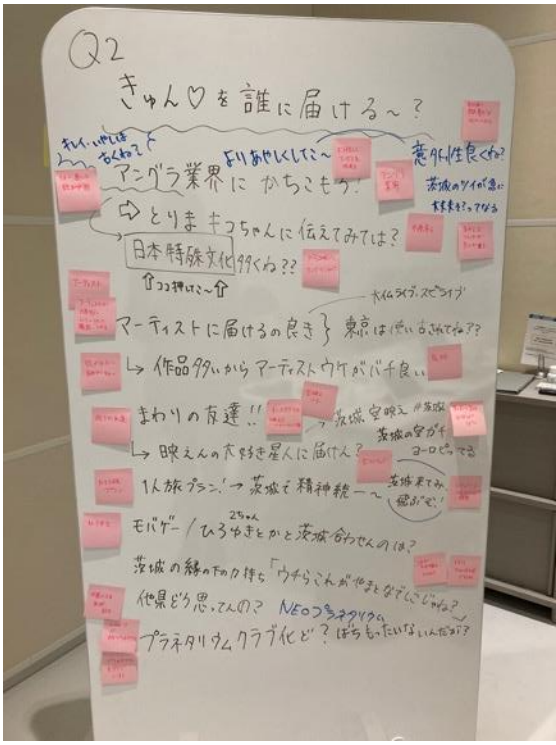
ここでは、「ただの癒しではなく、意外性をもう少しプラスしてはどうか」と、ギャル目線でのフィードバックが入り、
＃茨城空映え が「茨城の空デトックス」という”パワーワード”に。
その他にも、茨城県は全国の縁の下の力持ちであるという意見から、茨城県で頑張るギャルたちが、「ウチらこれ、やまとなでしこじゃね？」と語るキャッチコピーなど、斬新なアイデアが沢山生まれました。

意外性

#茨城の
空デトックス

ウチらこれ、
やまとなでしこ
じゃね？





03。イベントを終えて

様々な視点を持った人の意見を聞くことで、これまでには
思い浮かばなかった発想が生まれて、まさにアハ体験でした。

ギャルの率直なフィードバックや、意見を聞くことができて
思考の型を破ったアイデアを考える事が出来たと思います。

誰の意見も否定されず、自由な議論ができた今回。
意見を出すことに遠慮する姿勢がなくなり、様々な意見が出されたからこそ発想が広がり、単に魅力を発信するのではなく、本質をつくようなアイデアが生まれました。
特に、「場所や物ではなく、県民性に魅力がある」という視点が共有された時に、多くの参加者の脳内にビックバンが起こり、思考が活性化されました。
アンケート内の「ギャル式ブレストを知り合いに勧めたいと思いますか？」という質問に対する回答結果は、平均9.3ポイントと高評価。多くの参加者にとって、沢山の気づきがあった貴重な時間となったようです。

開催概要

日時	2021年11月8日（月）14:00~16:00
場所	SHIBUYA QWSサロン
主催	CGOドットコム
目的	ギャル目線から茨城県の魅力を考えることで、新たな茨城県の可能性を発見するためのワークショップ。

▲ギャル式ブレスト集合写真